

令和7年度 東北電労「歴史の森」 育成活動

令和7年6月9日(月)、一関市巖美町金山沢国有林 217 林班れ4小班の東北電労の「歴史の森」において、安全指導者として署職員2名と一関森林組合や約30名の参加のもと、森林保育のための「つる切り」、「除伐」を実施しました。

「歴史の森」は、当署と東北電労「歴史の森」育成協議会の間で、国民参加の森林づくり協定を締結しているもので、中尊寺等の世界文化遺産で知られる平泉町から近い一関市巖美町の金山沢国有林において、歴史的な木造建造物の維持に必要な大径・長尺材の確保が可能な森林づくりを目指して平成16年に設定されました。

作業を始める前に、当署職員と一関森林組合職員が作業方法や注意点について安全確認を行った後、参加者は、事前に笹等を刈払った作業場所にて、植樹したケヤキ以外の雑木(事前にピンクテープで目印)などを、鋸を使って除伐しました。樹木の伐採作業の経験者の方もおられ、率先して作業を進めていました。除伐作業後、クマ剥ぎ被害防止のために、木の幹にひもを巻き付ける作業も行いました。

参加された関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

作業前の安全確認



除伐作業



クマ剥ぎ被害防止



作業後状況



記念撮影

